



東北化学薬品株式会社

東北化学薬品株式会社

2005年9月期中間決算説明会

2005年6月8日

Chemical industrial medicine

Clinical examination reagent

Food

Agricultural materials

説明者

代表取締役社長 東 康夫





Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



Agricultural materials

東北化学薬品の事業内容及び 経営戦略について

第一部

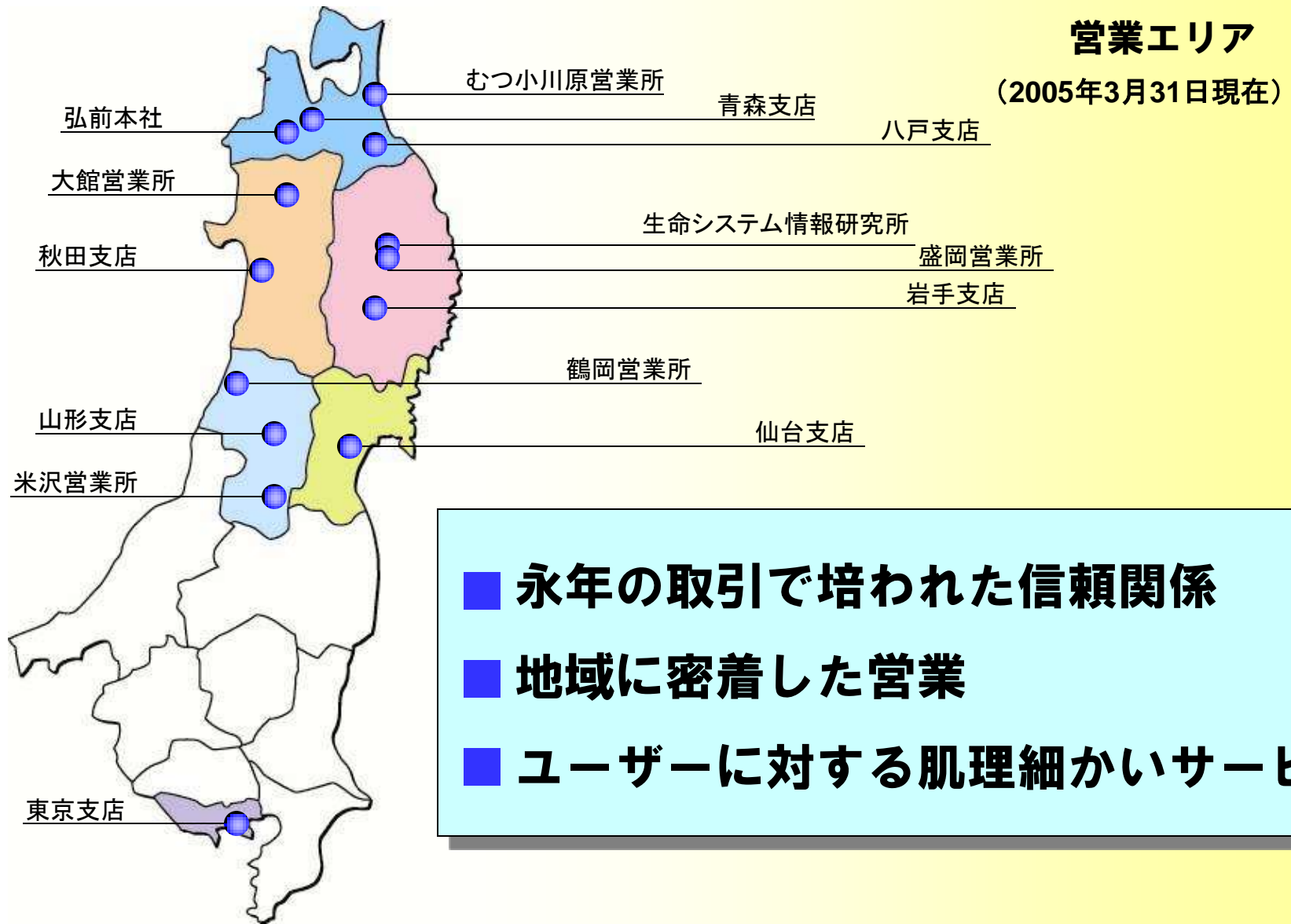
会社概要

社名	東北化学薬品株式会社
本社	青森県弘前市大字神田1-3-1
代表者	代表取締役社長 東 康夫
設立	昭和28年2月
資本金	7億5,370万円
従業員	235名（平成16年9月期）
売上高	17,221百万円（平成16年9月期）
事業内容	化学工業薬品・関連機器 臨床検査試薬・関連機器 食品添加物・関連機器 農業資材・関連機器
連結子会社	あすなる理研株式会社 東北システム株式会社



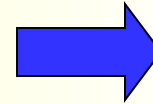
会社沿革

昭和28年2月	青森県弘前市北瓦ヶ町で化学工業薬品の販売を目的として東北化学薬品株式会社を設立
昭和29年8月	毒物劇物一般販売業の許可取得することにより、一般の化学工業薬品の他に毒物劇物の化学工業薬品の販売を開始
昭和30年6月	医薬品卸売一般販売業の許可取得することにより、医薬品の販売を開始
昭和51年9月	高圧ガス販売事業の許可取得することにより、高圧ガスの販売を開始
昭和58年6月	化学工業薬品の製造をおこなうことを目的として、100%子会社の東奥科研(株)(現 あすなる理研(株)(現 連結子会社)を設立
昭和63年8月	ソフトウェアの開発やパソコンの販売を目的として、子会社の東北システム(株)(現 連結子会社)を設立
平成元年3月	自社所有の土地・建物の管理を目的として、100%子会社の(株)東化地所を設立
平成4年10月	100%子会社(株)東化地所と合併
平成7年 6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成14年1月	秋田支店においてISO14001の認証取得を受ける
平成15年1月	本社においてISO14001の認証取得を受ける
平成15年7月	岩手県盛岡市に生命システム情報研究所を開設
平成16年1月	岩手支店、仙台支店、山形支店においてISO 14001の認証取得を受ける
平成16年12月	東北システム(株)においてISO9001の認証取得
平成17年1月	鶴岡営業所においてISO14001の認証取得



- 永年の取引で培われた信頼関係
- 地域に密着した営業
- ユーザーに対する肌理細かいサービス

- 高度な先端技術
- 特殊な取扱商品
- 特殊な物流形態

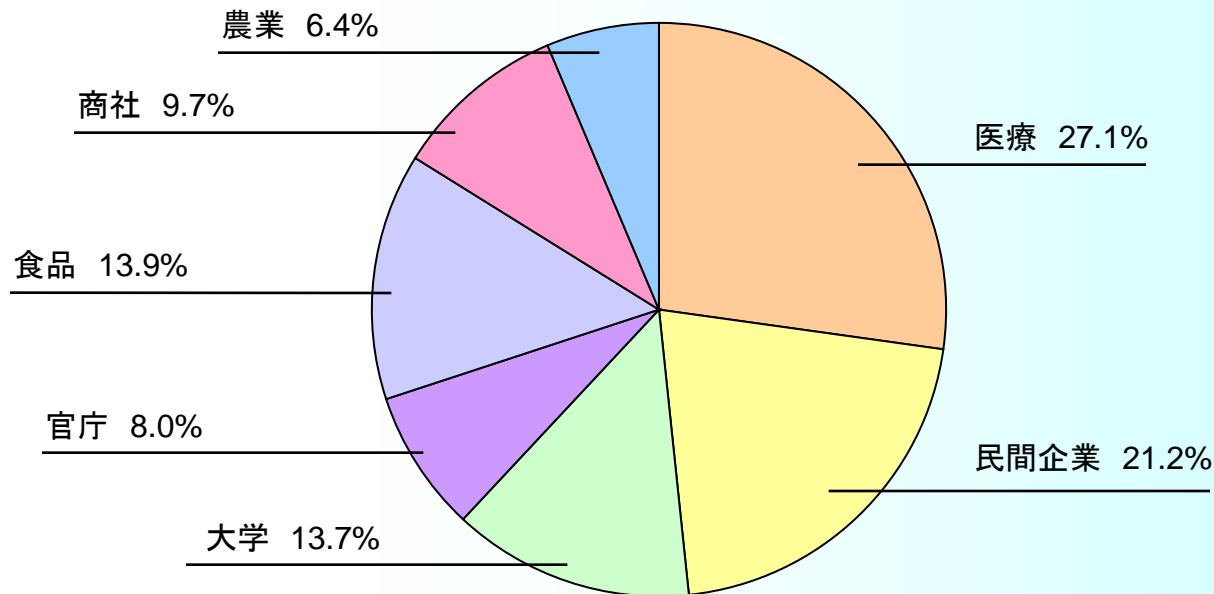


参入障壁



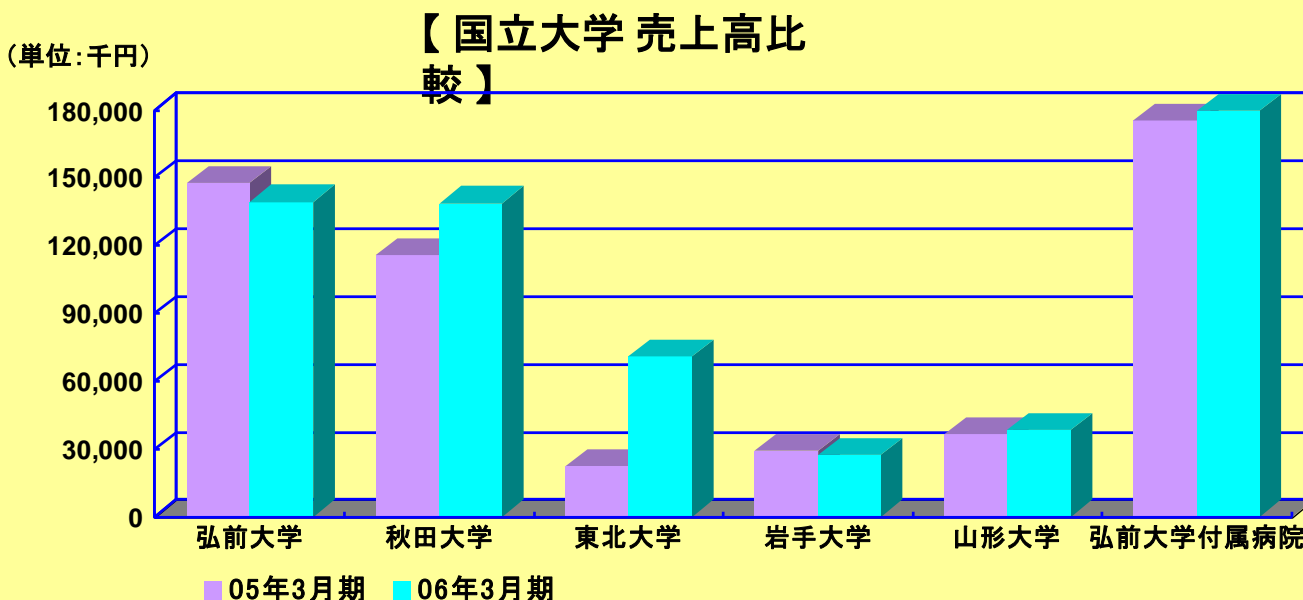
- 高度化・多様化するユーザーニーズ
- 顧客数：6,940口座

取引先の業種別内訳



【進捗状況】

1. 現状の否定、打破により市場変化への体質改革を図る
 ⇒経営向上推進委員会を立ち上げ、意識改革を進める
2. 国立病院機構、国立大学法人販売市場への再深耕を図る
 (青森・秋田エリアの深耕、岩手・宮城・山形エリアのシェアアップ)
 ⇒東北大学・秋田大学等で着実な実績を積み上げる



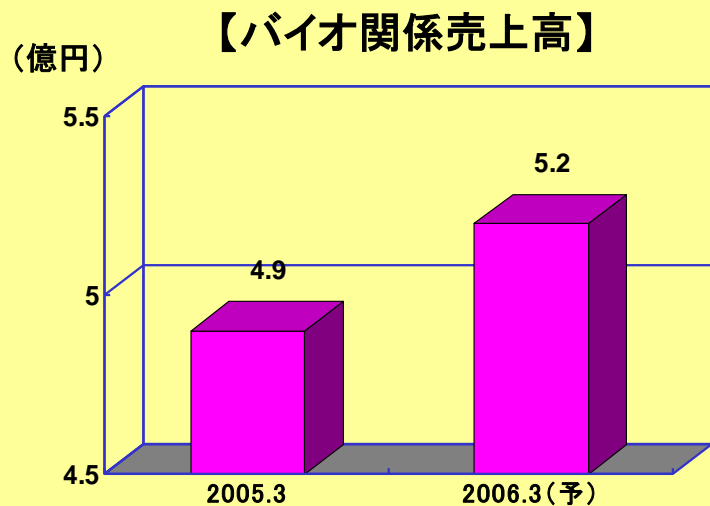
【進捗状況】

3. 「生命研」新事業とのシナジー効果により、バイオ市場への拡販を図る

⇒新ビジネスが拡大、利益率が向上

4. デジタル家電関連、製薬関連企業へのさらなる販売強化（山形・大館エリア）

⇒山形地区で大型案件を受注、人員投入によりさらに万全な体制へ



マクロ環境

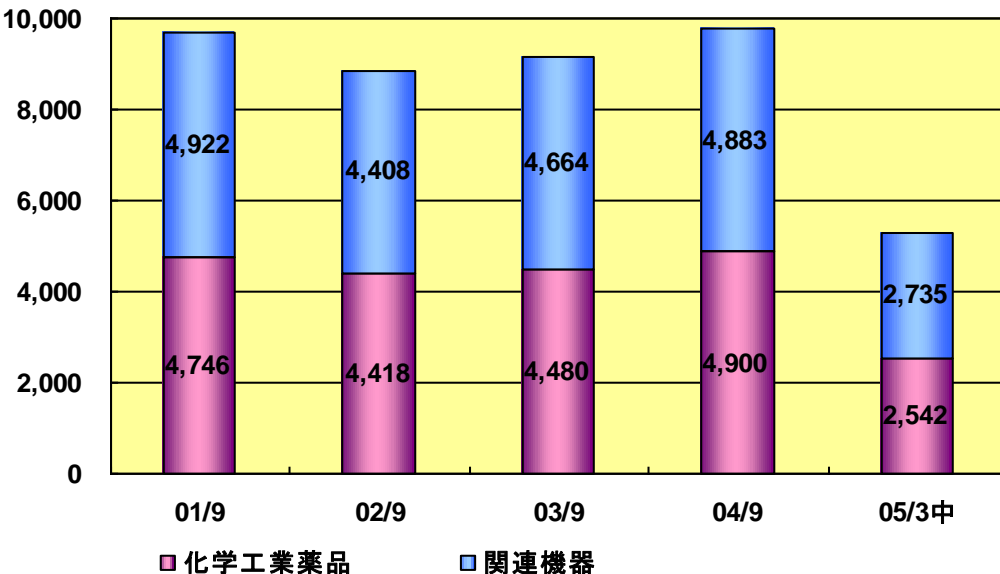
- 情報関連業界の堅調
- 国立大学の独立行政化

当社の対応

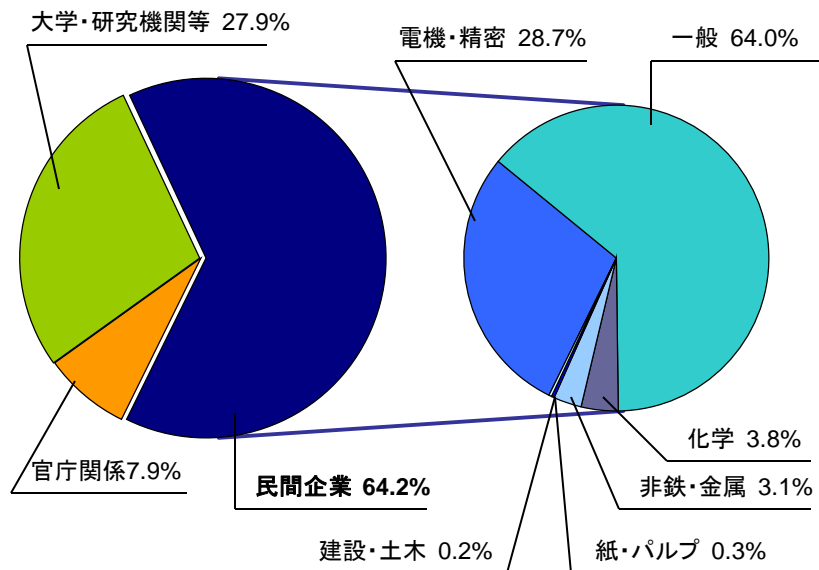
- 山形地区工場から大型受注
- 生命研を立ち上げ、特色あるビジネスでエリア拡大を目指す

化学工業薬品部門売上高推移

(単位: 百万円)



顧客業種別売上高内訳

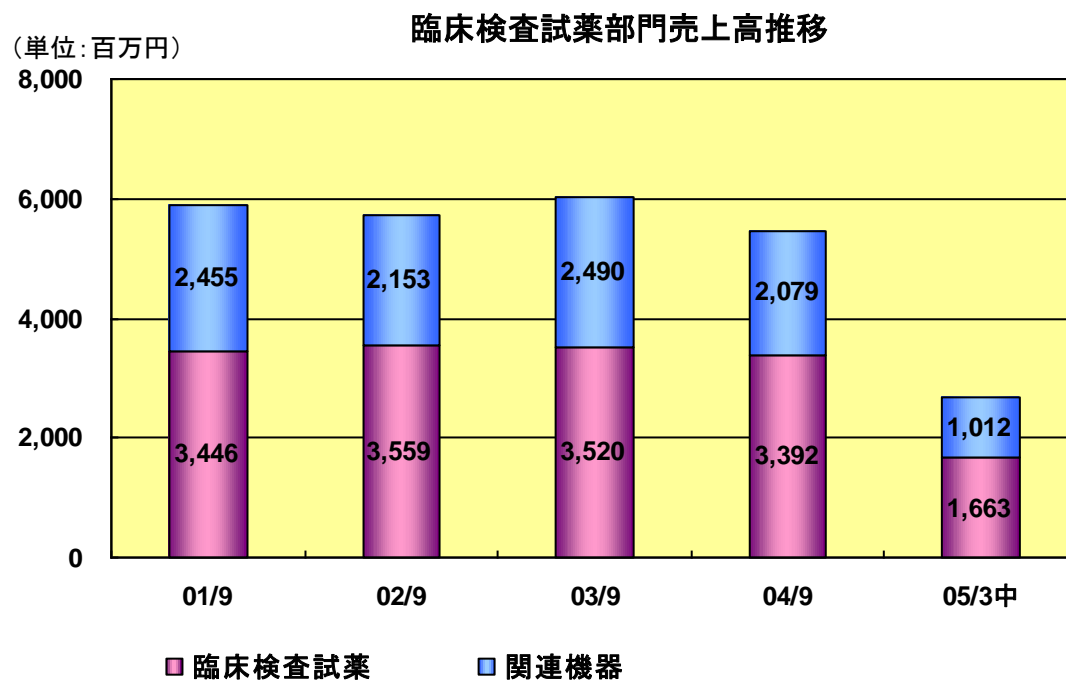


マクロ環境

- 国立病院、大学病院の独立行政化

当社の対応

- 試薬リリースによるシステム販売の強化



マクロ環境

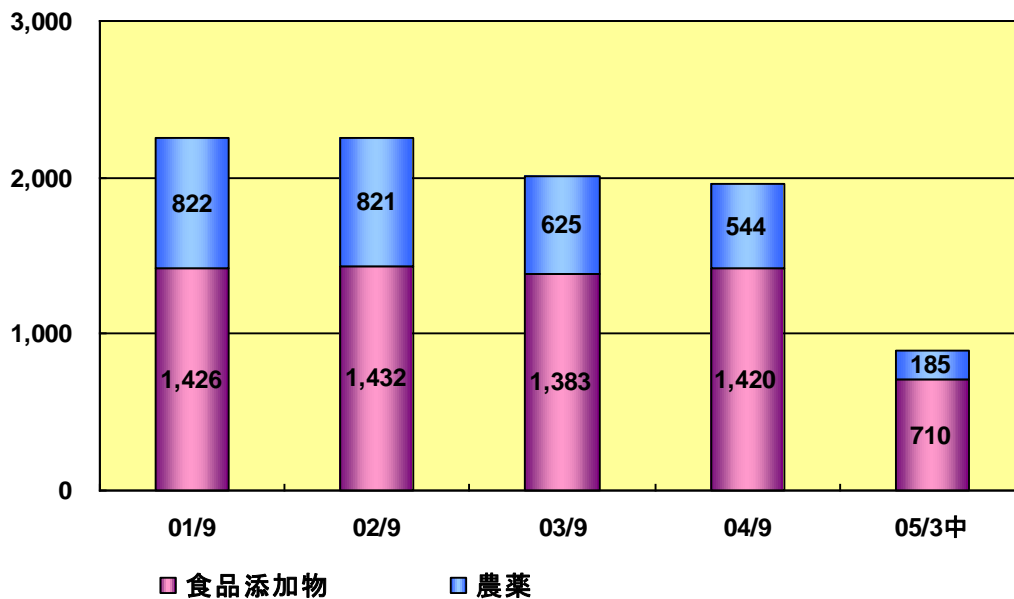
- 食品加工品・リンゴ加工品の消費減少
- 農薬需要の停滞傾向
(作付面積、減農薬傾向)

当社の対応

- 水産加工分野への営業強化
- 利益率の高い販売先(共同防除組合)への営業強化

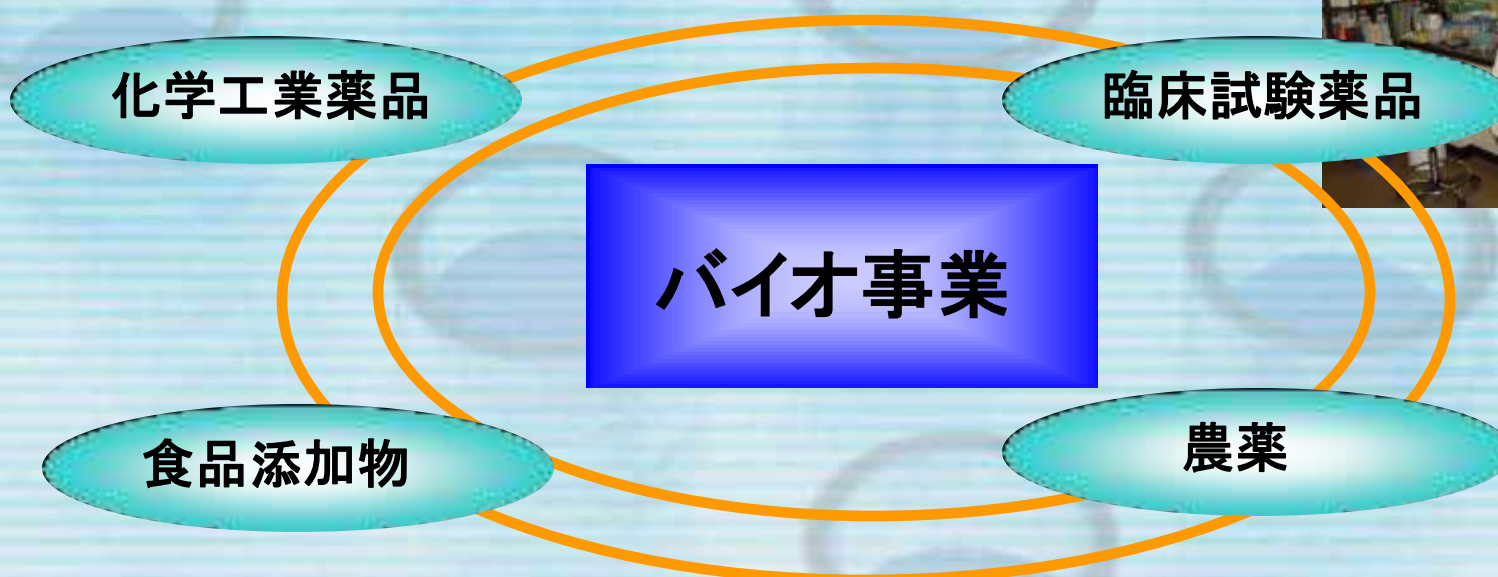
(単位:百万円)

その他部門売上高推移



化学工業薬品及び臨床試験薬品に次ぐ第三の柱

生命システム情報研究所



生命システム情報研究所概要

- 設立 平成15年7月
- 所在地 岩手県盛岡市大通3丁目3番地10号
- 所長 小岩 弘之（学術博士）
- 従業員 12名（研究員11名、秘書兼事務員1名）
- 目的
- (1) 当社のバイオ系営業活動支援
 - (2) バイオ系及び医薬医療系における遺伝子発現解析、それによる社会貢献
 - (3) バイオ系学術情報収集、先端バイオ学術セミナー企画、新規アイデア等の提言
 - (4) 産学連携バイオ共同研究等における対応と推進



ユーザー



産学連携学術セミナー



各事業所

高品質なサービス・商品提供

バイオ系営業活動支援
学術情報収集・提供

生命システム情報研究所

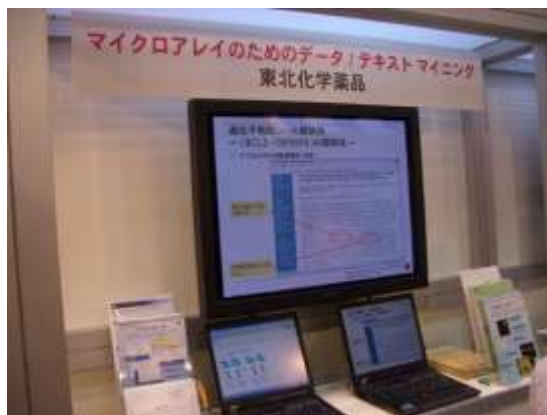
遺伝子発現データ解析
テキストマイニング
データ解析システム研究開発

国際ヒトゲノム会議に共同出展

HGM2005(第10回国際ヒトゲノム会議 in京都 4/19-21)において展示、和光純薬工業株式会社展示ブース内で当社遺伝子発現データ受託サービス共同出展。



第4回国際バイオ EXPO JAPAN に 日本IBM社と共同出展（2005年5月18-20日）



**日本IBM仙台支社と共催で、
先端バイオセミナー in 仙台開催予定
(2005年7月8日)**



マイクロアレイデータマイニング受託サービスに続き、テキストマイニング受託サービスを商品化

東北化学薬品株式会社

高度文献マイニングサービス

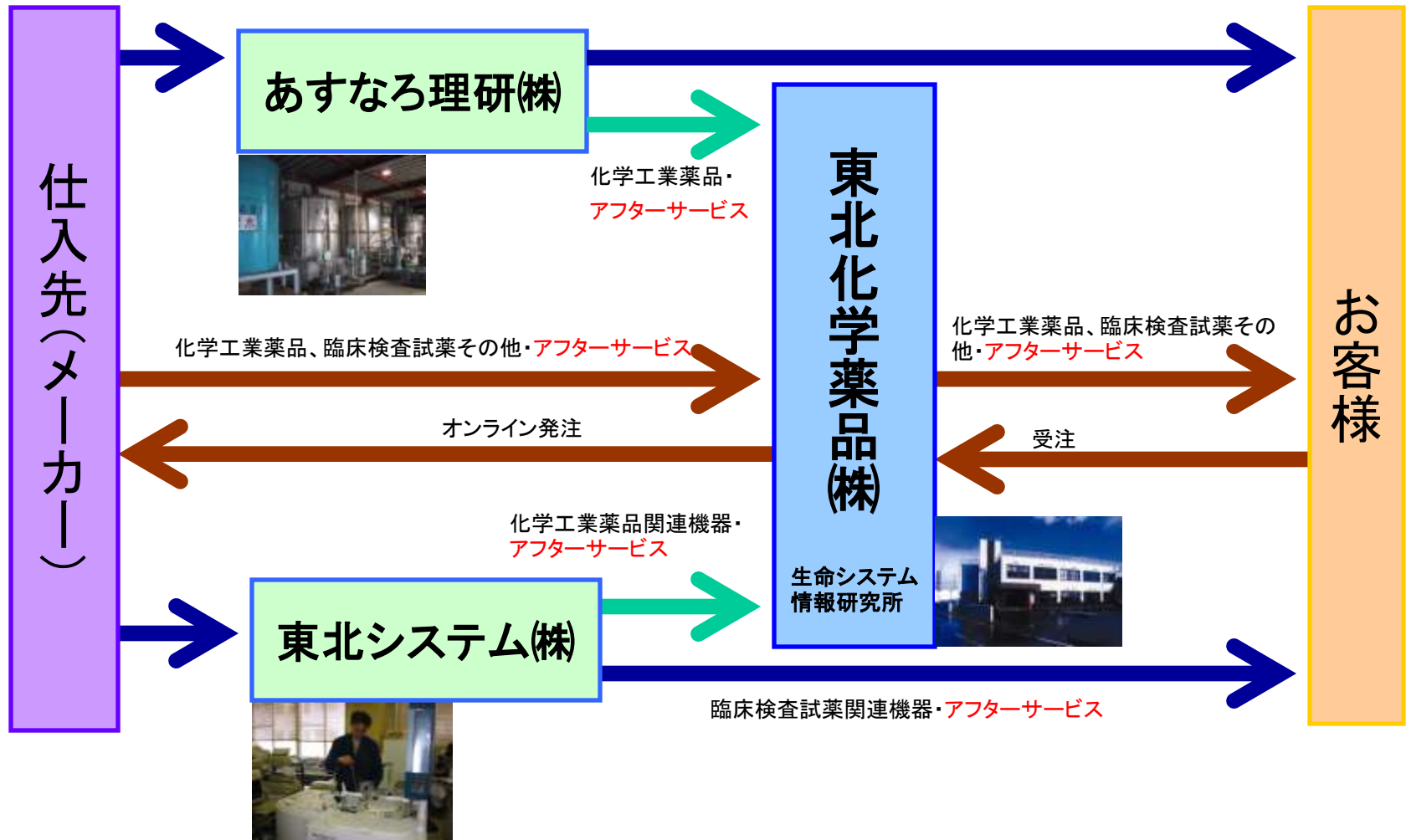
MOGERA-GR

(MOGERA: Mining of Gene Relation)

『MOGERA』は、IBM TAKMI™ for Biomedical Documents (MedTAKMI)を利用した、ライフサイエンス研究者向けの高度文献マイニングサービスです。

『MOGERA-GR』では、遺伝子間の相関関係を見出しその文献情報をご提供します。

企業集団の系統図



2007年9月期業績目標

売上高 : 200億円

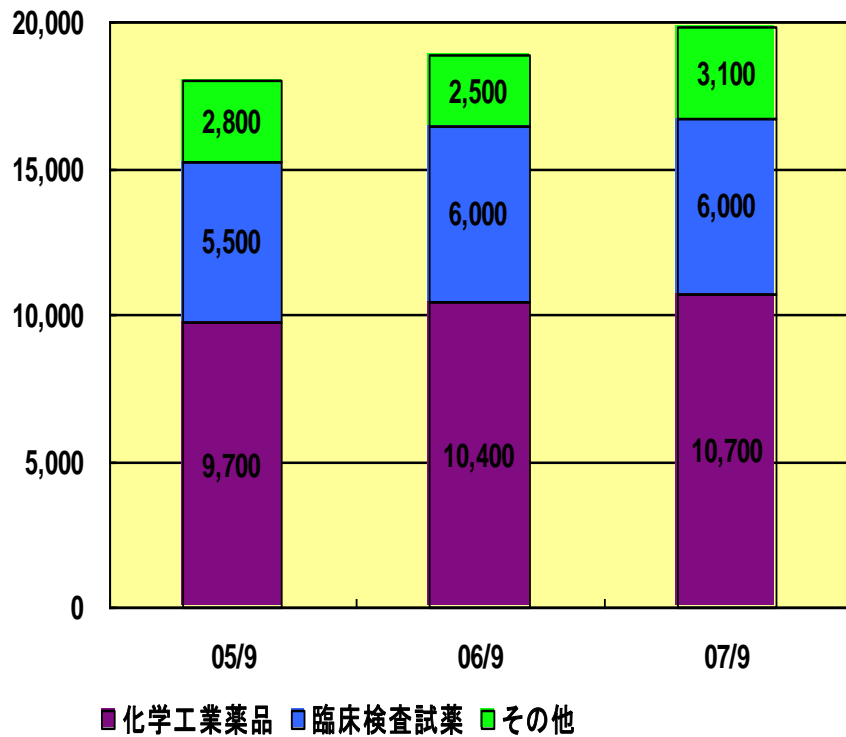
経常利益 : 5億円

2007年9月期経営指標目標

ROE : 7%

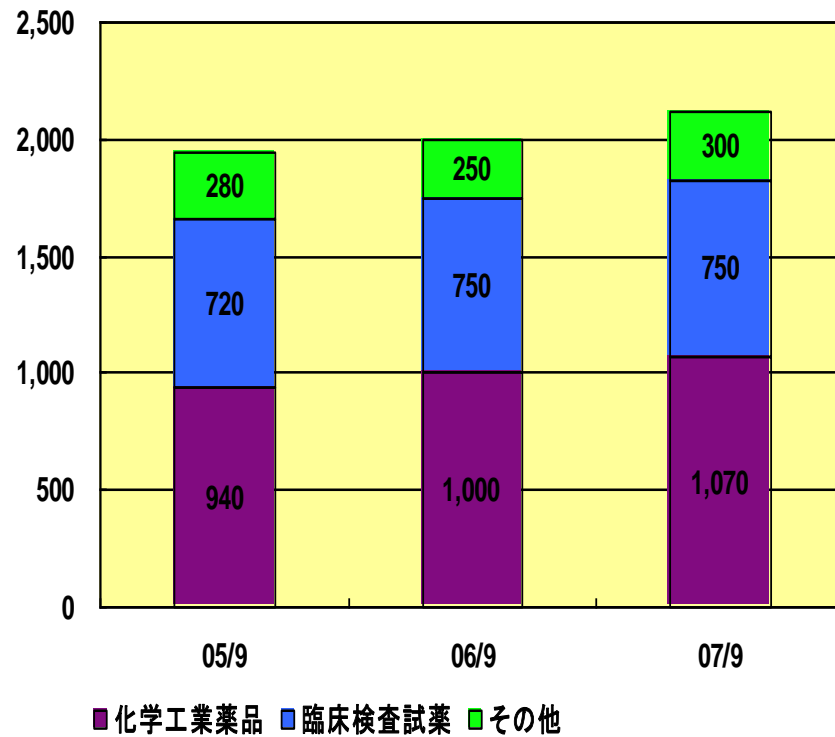
売上高

(単位:百万円)



売上総利益

(単位:百万円)





Chemical industrial medicine



Clinical examination reagent



Food



Agricultural materials

2005年9月期中間決算の実績及び 2005年9月期の業績見通しについて

第二部

連結損益計算書

(単位:百万
円)

	2004年9月期 中間決算	2005年9月期 中間決算	対前期比	変動要因
売上高	8,539	8,847	3.6	化学工業薬品+366 臨床検査試薬△84
売上原価	7,529	7,783	3.4	化学工業薬品+333 臨床検査試薬△99
売上総利益	1,009	1,063	5.4	利益率11.8%→12.0% 臨床検査試薬+1.0%
販売費及び一般管理費	846	875	3.4	
営業利益	162	187	15.4	売上増加による
経常利益	169	204	20.6	売上増加による
当期純利益	70	102	44.7	売上増加による

セグメント別業績
(2005年9月期中間決算)

(単位:百万
円)

	化学工業薬品部門	臨床検査試薬部門	その他部門
売上高	5,277	2,675	895
売上総利益	580	369	114

連結貸借対照表 (資産の部)

(単位:百万円)

	2004年9月期 中間決算	2005年9月期 中間決算	増減額	変動要因
流動資産	5,631	5,888	257	
現金及び預金	516	912	396	売掛回収率アップ及び仕入債務の増加による
受取手形及び売掛金	4,454	4,300	△ 154	売掛回収率アップによる
たな卸資産	618	646	28	
その他	44	35	△ 9	
固定資産	2,862	2,848	△ 14	
有形固定資産	1,911	1,882	△ 29	
無形固定資産	12	9	△ 3	
投資その他の資産	939	955	16	
総資産	8,494	8,736	242	現預金の増加による

連結貸借対照表 (負債・資本の部)

(単位:百万円)

	2004年9月期 中間決算	2005年9月期 中間決算	増減額	変動要因
流動負債	4,303	4,475	172	
支払手形及び買掛金	4,049	4,217	168	支払サイトの短い取引先との取引減少
その他	254	257	3	
固定負債	176	171	△ 5	
資本金	753	753	0	
資本剰余金	814	814	0	
利益剰余金	2,337	2,432	95	
その他	109	91	△ 18	
総資産	8,494	8,736	242	

キャッシュ・フロー

(単位:百万
円)

	2004年9月期 中間決算	2005年9月期 中間決算	変動要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	332	503	仕入債務の減少による
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35	△ 82	投資有価証券の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 100	△ 68	配当金支払の減少 (前期は特別配当7円あり)
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	196	379	
現金及び現金同等物の期首残高	315	528	
現金及び現金同等物の期末残高	511	907	

2005年9月期の業績見通し

(単位:百万
円)

	2004年9月期	2005年9月期 (予想)	対前期比 (%)	変動要因
売上高	17,221	18,200	105.7	山形地区+110% 宮城地区+114%
売上原価	15,242	16,120	105.8	
売上総利益	1,979	2,080	105.1	
販売費及び一般管理費	1,702	1,710	100.4	
営業利益	277	370	133.8	
経常利益	285	380	133.3	
当期純利益	130	190	146.2	

2005年9月期のセグメント別業績見通し

(単位:百万
円)

	化学工業薬品部門	臨床検査試薬部門	その他部門
売上高	10,700	5,500	2,000
売上総利益	1,120	730	230

IRに関するお問合せ先

東北化学薬品株式会社
経理部 経理課 課長 小寺 伸哉
電話: 0172-33-8101

e-mail: kodera@t-kagaku.co.jp



TOHOKU CHEMICAL

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。